

週間市場レポート

(2017年10月2日～10月6日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

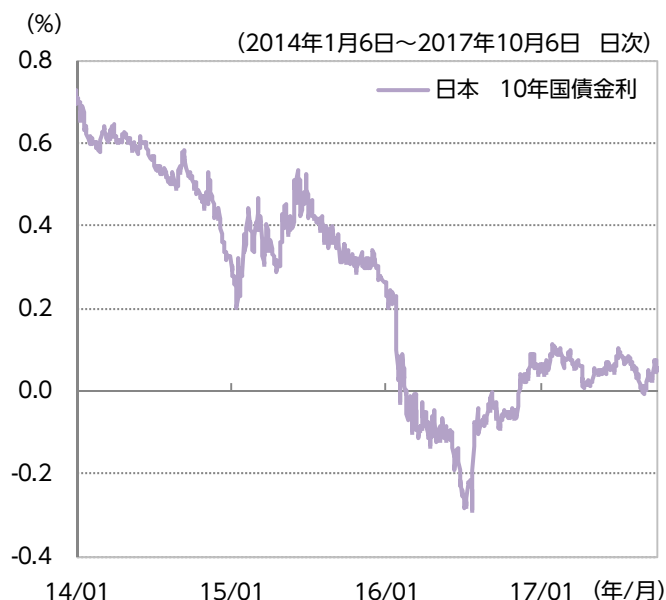
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。良好な日銀短観や、市場予想を上回る米経済指標の結果が好感され、週初より上昇してスタートしました。5日続伸し、連日で年初来高値を更新しました。（週末引け値：20,690.71円）
- 週間では、日経平均株価は1.64%の上昇、東証株価指数は0.74%の上昇でした。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に低下となりました。財務省が実施した10年債入札や、日銀が実施した国債買い入れオペの結果等を受けて週を通じて一進一退の展開となりました。週末は、米国債相場の下落や、3連休を控え持ち高整理の売りに押される場面もありました。（週末引け値：0.056%）
- 週間では、0.012%の低下となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。良好な米経済指標が好感されたことや前週に発表された米税制改革案への期待感等から4日続伸しました。週末は、北朝鮮のミサイル試射が近いとの観測を受け、前日比で下落しました。
(週末引け値：22,773.67ドル)

- 週間ではNYダウは1.65%の上昇となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で小幅に円安米ドル高となりました。日経平均株価が約2年1カ月ぶりの高値を付けたことや、金融引き締めへ慎重とされるパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）理事が次期議長の候補者との見方が広がったことなどを受け、週を通じて一進一退の展開となりました。
(週末引け値：112円60銭～70銭)

- 週間では米ドル/円は0.12%の円安、ユーロ/円は0.57%の円高となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。